

鴨川の新たな憩いの場 「鴨川オアシス」の整備提案

人事委員会事務局職員課
建設交通部河川課
建設交通部都市計画課
山城広域振興局農商工連携・推進課

○発表の流れ

- 1 設定された研究テーマの説明
- 2 提案内容「鴨川オアシス」の整備
- 3 現状分析
- 4 国内・海外フィールドワーク
- 5 具体的な提案内容の説明
- 6 今後の課題

○設定された研究テーマ

地元民が普段使いしたい
癒し・憩い・遊びの鴨川
「シン・カワノキョウト」

京都市から返却される予定の
鴨川沿い空間の利活用方法を提案

○地元民にとって魅力的な憩いの場「鴨川オアシス」

地元民にとって魅力的な憩いの場
「鴨川オアシス」の整備

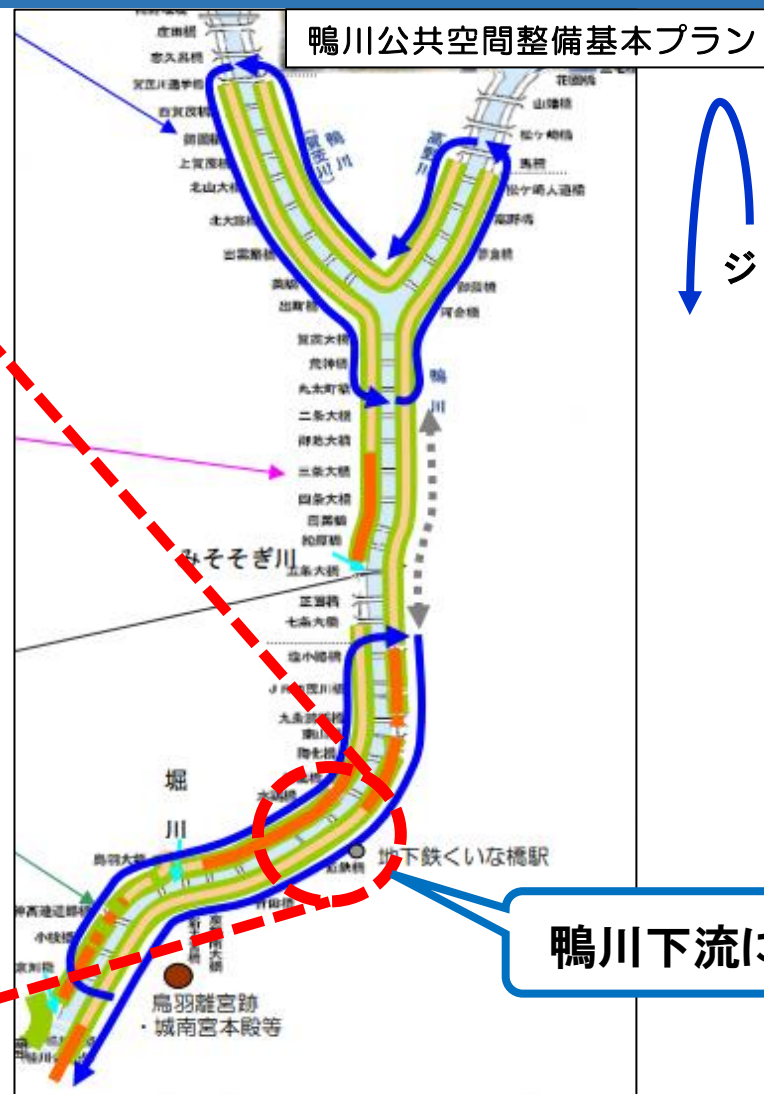
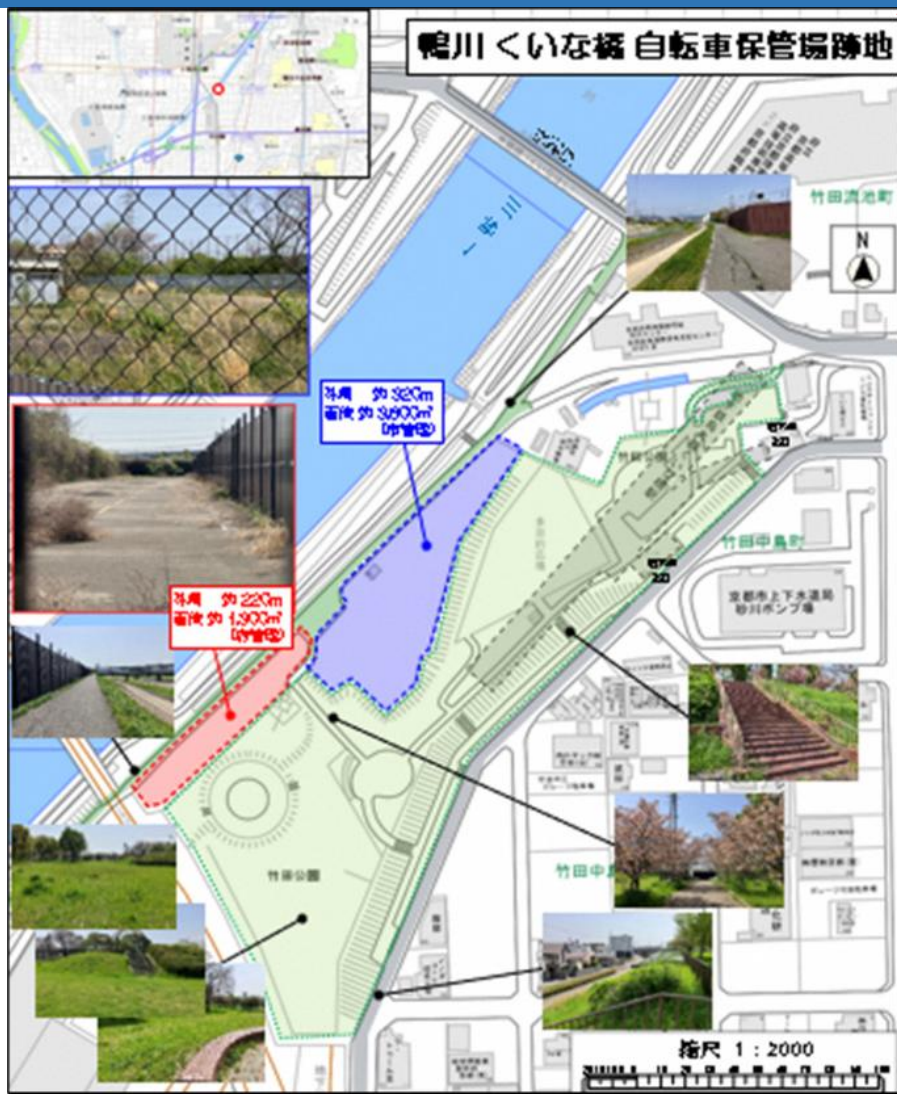
利用目的の自由度が高い

可動的な多目的広場を整備

地元民との協働

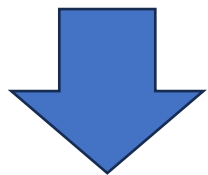
多様なニーズに応じた数々のイベント

○取り巻く環境



○これまでの利用方法

- 平成22年から鴨川等の放置自転車の撤去作業が京都市に移管
- 大量の撤去自転車の保管場所として平成23年から土地利用開始



高い塀に囲まれ視界も悪く、地元民は寄り付かない



○約3メートルの高い塀に囲まれた土地



○韓国フィールドワーク

調査先概要

- 清溪川（チョンゲチョン）（韓国・ソウル市）
- ソウル市中心部を流れる都市河川

選定理由

- 観光都市を流れる河川としての類似性
- 高速道路の暗渠から市民の憩いの場へと整備された経過

○韓国フィールドワーク

調査目的

都市部に近いことから多様な人が集まるため、多くのニーズにどのように応えることで「憩いの場」を創出しているかを確認

調査内容

地元民の利用状況及び、清溪川博物館及び清溪川で定期的に行われているイベント「ソウル市野外図書館」の確認

○清溪川の様子

地元民の憩いの場として賑わいがある



平日昼でも賑わうソウル市野外図書館イベント



橋下空間を利用した入替可能な展示イベント



簡単に設置できる設備を使用した可動的なイベント



○評価分析

提案に取り入れたいポイント

- 用途を一つに絞ることなく、可動式の椅子など可変的な空間利用
- 多くのイベントを開催

提案になじまないポイント

開催されているイベントは行政が主体となっており、開催費用が膨大

○漢江（ハンガン）の様子

イベントがなくても一定の賑わいを見せている漢江（ハンガン）の様子

至るところにベンチが設置されている



公園近くの駅改札を出てすぐにランナーズステーションを設置



○国内フィールドワーク

調査先概要

- 芦田川かわまち広場（広島県・福山市）
- 管理方法：指定管理者制度（福山市スポーツ協会）
- 整備内容：BBQテラス、スケートボードパーク、芝生広場を設置

選定理由

- 幅広い自由な目的で利用可能
- 多様なイベントの開催

○芦田川かわまち広場の様子

芝生広場



スケートボードパーク



○イベント開催による効果

概要

管理運営のプラットフォームからプロジェクトチームを立ち上げ、イベントを開催

開催されたイベント例

オーガニックマルシェ、ドッグラン、マラソン大会、BBQ体験など

イベント開催による効果

- 広場での過ごし方に多様性が生まれた
- 利用者同士の交流が生まれた
- 一過性のイベントから常態化へ
→プロジェクトチームによる企画・運営

○評価分析

提案に取り入れたいポイント



多様な利用目的を実現する仕組み

(例：自由に地面にポールを着脱することで、河川空間を区切り、ドッグランやサッカー用途で利用可能)

管理運営のプラットフォームの存在

地域住民、河川管理者、公園管理者、指定管理者、河川利用団体及び民間事業者からなるプロジェクトチームを立ち上げ、エリア価値向上に向けたイベントを継続的に実施

○地元民にとって魅力的な憩いの場「鴨川オアシス」

京都府・京都市・地元民一体で3つの取組

①利活用予定地にはどのようなイベントでも開催できる空間を

用途を指定するような据え置き型の設備を排除し、可変的に組み替えられる多目的広場（ポール穴を設置し空間を区切れるように）

②竹田公園にはイベントがなくても目的をもって集まれる空間を

常時利用可能な設備として、竹田公園にランニングステーションを設置
これまでになかった鴨川のジョギングコースの始点終点の役割を与える。

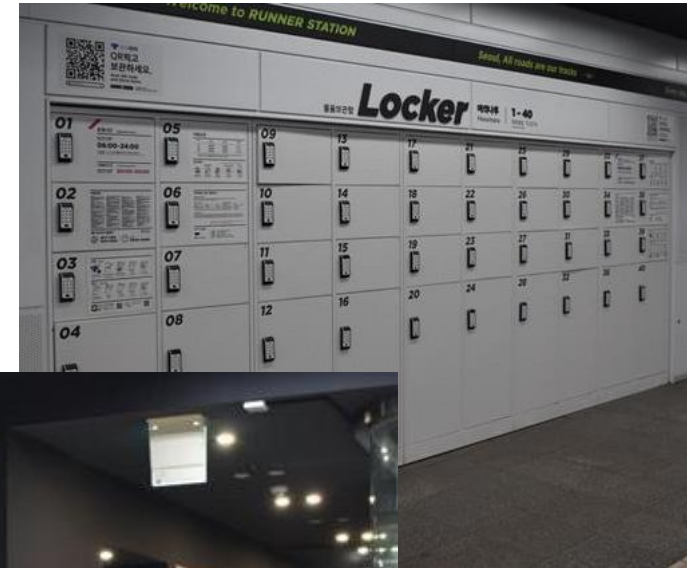
○鴨川ジョギングロードのスタート・ゴール

ランニングステーションとは

ロッカー・更衣室・シャワーなどを完備し、ランナーが活動の拠点として利用できる施設

鴨川ジョギングロード

鴨川公共空間整備基本プランにおいてウォーキングやジョギングの目安となるコースの設定があるため、拠点となる施設を設置



○地元民にとって魅力的な憩いの場「鴨川オアシス」

京都府・京都市・地元民一体で3つの取組

③利活用予定地及び竹田公園で協働でイベントを実施できる空間を

- 指定管理者制度を活用し、利活用予定地と竹田公園を一体管理
- 指定管理者、行政、地元民等からなるプロジェクトチームを立ち上げ、賑わい創出のためのイベントを企画していく

○ 「鴨川オアシス」の理想の姿



竹田公園に、ランニングステーション
がある景色
カフェを併設させて憩いの場所とし
て……

○ 「鴨川オアシス」の理想の姿

週末は地元民や
企業が積極的に
イベントを開催

ドッグラン

平日は
鴨川をランニング
やウォーキング

龍谷大学の学生に
よる映画上映会

京都高等技術専門
校の学生作品の
展示場

○今後の課題

人と人のつながりを大切に

- 府市連携による竹田公園との一体整備・管理に向けた整備計画や管理方法の検討
- プロジェクトチーム立ち上げのための構成員の発掘
- 指定管理者となりうる団体やランナーステーションの運営管理者の調査